

# 広報 伊万里

活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち

## 平成29年度 予算特集号



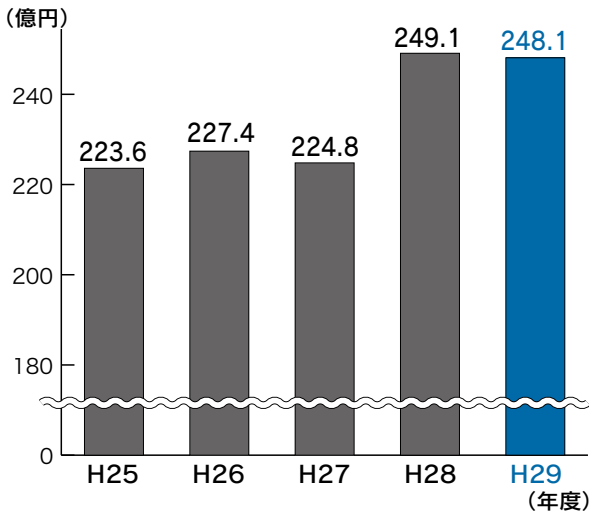
# 一般会計

平成29年度当初予算総額

# 248億700万円

## 一般会計予算額の年度別推移

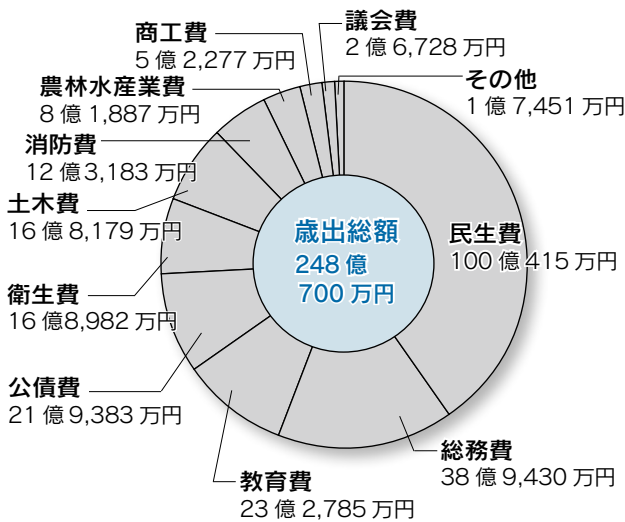
※平成26年度は6月補正後



国の経済政策などにより、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、市の主要な財源である税収の伸びは不透明な状況です。さらに、今後、少子・高齢化の進展による扶助費などの社会保障関連経費や、特別会計への繰入金などの義務的経費の増加に加え、老朽化した公共施設の大規模な修繕などが必要となるなど、さらなる財政の硬直化が見込まれます。このため、既存事業の適正化を徹底しながら、財政調整基金などに加えてふるさと応援基金を活用するなど、堅実でありながらも、子どもを産み育てやすい環境づくりや教育環境の充実、暮らしの安全と安心を確保するための防災の推進など、限られた財源を効果的に配分した予算を編成しました。

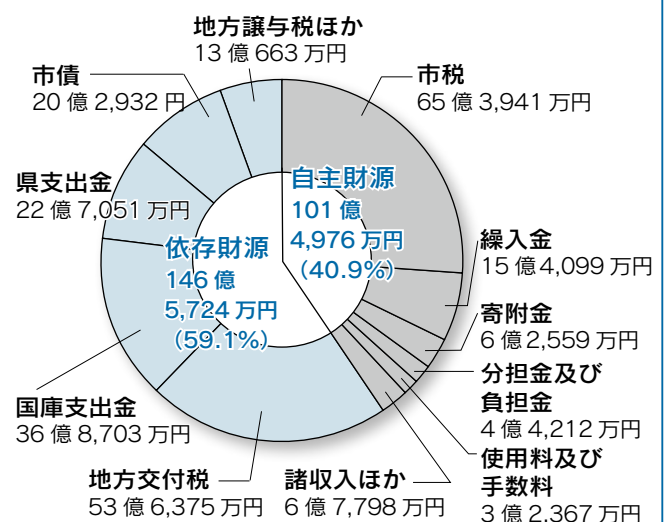
その結果、今年度の伊万里市一般会計予算は、総額で248億700万円となりました。平成28年度と比較すると、0.4%の減少となっています。

## 歳出



- **民生費**……社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**……企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費**……小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **公債費**……借入金の返済に要する経費です。
- **衛生費**……保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **土木費**……道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **消防費**……火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**……農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**……商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**……議会運営に要する経費です。
- **その他**……労働費や諸支出名、災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税**……個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金**……基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金**……ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄付です。
- **分担金及び負担金**……災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **使用料及び手数料**……施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**……雑入などです。
- **地方交付税**……国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**……国からの負担金や補助金です。
- **県支出金**……県からの負担金や補助金です。
- **市債**……市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税**……国税から譲与されるものです。

**表 1** 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	79 億 8,622 万円
介護保険	59 億 2,302 万円
立花台地開発事業	1,864 万円
公共下水道事業	23 億 9,507 万円
農業集落排水事業	1 億 6,984 万円
市営駐車場	1,313 万円
後期高齢者医療	13 億 7,205 万円
計	178 億 7,797 万円

**表 2** 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	12 億 3,395 万円
	支出	12 億 3,395 万円
資本的収支	収入	7 億 1,451 万円
	支出	8 億 7,236 万円

**表 3** 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	219 億 9,204 万円	
特別会計	公共下水道事業	108 億 2,550 万円
	農業集落排水事業	9 億 8,151 万円
計	337 億 9,905 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	52 億 9,645 万円
	工業用水道事業	126 億 7,302 万円
計	179 億 6,947 万円	

※平成 29 年 3 月末の現在高です。  
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

# 特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるので、特別会計を設けています。

平成 29 年度は、**表 1** のとおり 7 つの特別会計を設けており、その予算総額は、178 億 7797 万円となっています。

## 国民健康保険特別会計

国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

## 介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。



## 立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

## 公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

## 農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

## 市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

## 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける 75 歳以上の高齢者と 65 歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

# 企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の 2 つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、**表 2** のとおりです。

## 水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

## 工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

# 市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、**表 3** のとおりです。

# 世界へと大きく翔ばたく 存在感のある伊万里市へ

すべての市民があらゆる場で生き生きと活躍で  
きるまちづくりで全力で取り組みます。

平成29年伊万里市議会第1回定例会で、塚部芳和市長が平成29年度の  
市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介いたします。

## 平成29年 第1回定例会 所信表明

### はじめに

市政運営4期目にあたり、私は、『暮らしの安全と安心の確保』、『地域産業の振興』、『賑わいと活力の創造』を3本の柱として、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない発想による市民本位の市政運営に邁進してきました。これまで、市民の皆さんの安全と安心の確保を重要施策として、市内全域への防災行政無線の整備着工をはじめ、集落を単位とする防災マップの作成、広域連携による西部クリーンセンターの整備や子どもを安心して産み育てるための子ども医療費の対象年齢の拡大などに取り組んできました。

特に、玄海原子力発電所の再稼働については、今後も30キロ圏内は地元自治体であるとの考えから、市民の皆さんの原発に対する不安に寄り添い市の考え方を明確に述べていく決意です。

また、市民待望の西九州自動車道の市内区間の開通や伊万里港の有機的な連携に向けて着々と進む臨港道路の整備など、将来にわたり発展の礎となる都市基盤の整備を着実に進めることができました。

このような中、伊万里港が開港50周年の節目を迎えます。古くは古伊万里の積出港として世界に名をはせ、今日では工業港や国際物流港として成長を続けています。

まさに、伊万里港の歴史は本市発展の歴史であり、連綿

と続いてきた先人たちの努力の結晶であるこの伊万里を誇りを持って次代に引き継ぐことが、今を生きる私たちの使命であると強く感じています。

アジアへ向けた伊万里港と福岡都市圏に向けた西九州自動車道という西九州北部地域のゲートウェイとしての確固とした成長力を手にした今、私は、これまでの実績の上に、将来をしっかりと見据え、市民の皆さんの英知と行動力を結集し、国内はもとより世界へと大きく翔ばたく、存在感のある伊万里市づくりに挑戦していく決意です。

### 市政を取り巻く情勢

国においては、誰もが生きがいを持って、その能力を十分に発揮できる社会を創出する『一億総活躍の国創り』が推進されており、少子高齢化の克服に向けた取り組みにより、世

界に先駆けた挑戦が始められています。

本市においては、国の経済対策の効果により雇用情勢の改善などは進んでいます。企業収益や個人所得への波及効果は十分に得られていない状況にあります。また、平成27年度の国勢調査においては、少子高齢化の傾向と併せて、特に若い女性の流出が顕著となるなど、人口減少対策は地域経済の活性化とともに本市の喫緊の課題となっております。

### まちづくりの基本方針

私は、国が進める『一億総活躍社会』を実現するメインエンジンは地方創生の推進であるとの考えから、さらなる深化に向け、昨年8月に地方創生人材支援制度を活用して総務省から人材派遣を受けたところ。今後も地方創生推進交付金をはじめ、関係する国の制度を十分に活用しながら、関係団体や事業者などとの連携による具体的な実行計画のもと、すべての市民が職場や地域など、あらゆる場で生き生きと活躍できるまちづくりに全力で取り組んでいく覚悟です。

主要な施策

施策の推進にあたっては、総合計画の将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現を目指した施策を展開するとともに、市民総活躍の3つの視点から、事業の推進に努めます。

『市民がしごとで活躍できるまちづくり』

私は、市長就任以来、市民の皆様の安定した暮らしに不可欠なしごとづくりとして、企業誘致を積極的に推進した結果、多くの雇用を新たに生み出すことができ、既存の工

業団地はほぼ完売の状況にあります。

若者の定住対策として効果が高い就労の場を確保するため、国道498号松浦バイパス付近に製造業の立地を想定した新たな工業団地の整備を進めるとともに、民間のオフィス物件を市街地に確保し、若者や女性の就労先となる事務系企業の誘致を進めます。

農業については、観光事業との連携により伊万里牛や伊万里梨などのブランド確立や販路拡大を進めるとともに、伊万里梨などの樹園地拡大や老木の改植、繁殖雌牛の導入を支援するなど、生産者の経営安定化と産地の維持、拡大を図ります。



第1回定例会で所信表明を行う塚部芳和市長

ふるさと応援寄附金については、本市ならではの返礼品の充実により全国から高い評価を得ており、今後も新たな特産品の開発や地域資源を活用したブランド化など将来的に競争力を備えた地域産業の振興につなげます。

『市民が地域で活躍できるまちづくり』

市では、『小さな拠点』づくりとして、地域住民が行政や事業者などと連携し、生活に必要な機能の確保や地域の資源を生かした事業の展開により持続可能な地域を目指すまちづくりを進めており、波多津町をモデル地区と位置づけ事業に取り組んでいます。

現在、まちづくり活動の拠点として波多津町コミュニティセンターの整備を進めており、コミュニティビジネスの取組を活性化するため、波多津町まちづくり運営協議会のNPO法人化を促進し自律的で持続的なまちづくり活動を支援します。

また、大川町においても自発的な取組として、大川町コミュニティ運営協議会によるコミュニティバスの10月の運

行開始に向けた準備が進められており、このような住民主体による地域の元気を生み出すまちづくり活動のさらなる拡大を期待しています。

専門部署を新設して取り組んでいる移住・定住の促進については、本年1月から奨励金制度を創設したところ、多くの問い合わせを受けており、新たな取り組みとして、都市圏の若者を地域おこし協力隊として採用し、若者の視点からの移住施策の検討や地域のまちづくり活動の活性化を図ります。

『女性が活躍できるまちづくり』

本市では、一人一人が自立し、社会のあらゆる分野に平等に参画し責任を分かち合う社会、互いの違いや多様な生き方を認め尊重する社会を実現するため、昨年4月に男女協働参画を推進する条例を施行するなど、女性が活躍しやすいまちづくりを推進しています。

を推進し、男女が仕事と家庭生活、地域活動などを両立し円滑に継続できるような男女協働参画社会を実現するための指針を盛り込んだ第4次男女協働参画基本計画を策定します。

しごと創りセンターポータルTO3316 IMARIについては、市内外からの注目を集め、既にICT関連企業や大学生による起業の取り組みが始まっています。今後さらに、女性や若者の多様な働き方につながる活動が展開されるよう大きな期待を寄せているところであり、市民の皆さんとともに応援し育てていきたいと考えています。

また、子育てと仕事の両立を支援する取組として、留守家庭児童クラブについて、対象学年を計画的に拡大するほか、施設の拡充や支援員の増員など受入体制を整備するとともに、小中学生の医療費助成について、現物給付へと移行し保護者の申請手続きを簡略化するなど、働きやすい環境づくりと子育てにかかる経済的な負担の軽減に努めます。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。

## 安心して健やかな暮らしづくり

### まちづくりの目標

犯罪被害者などに対し遺族見舞金や傷病見舞金を支給する制度を創設します。

地域共生ステーションの防犯対策を支援するとともに、高齢者の就労機会を創出するシルバー人材センターや高齢者の生きがいづくりに取り組む老人クラブを支援します。

障害福祉サービスの提供体制の確保や事業の円滑な実施について定める第5期障害福祉計画を策定するとともに、障害を軽減し日常生活能力の向上を図るための医療の給付など、障害者の地域における自立した生活を支援します。

子育て支援については、留守家庭児童クラブの施設などを拡充するほか、病後児保育や延長保育などの実施により多様な保育ニーズに対応するとともに、児童手当の支給や幼児のインフルエンザ予防接種の助成など、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

適切な医療を提供するため、伊万里有田共立病院や休日・夜間急患医療センターなどの円滑な運営に取り組みます。



市老人クラブ連合会主催のレディースゴルフ大会

●犯罪被害者等支援事業(新) 40万円  
犯罪被害者の負担の軽減を図るため、犯罪行為により死亡し、または傷病を負った人(遺族または被害者)に対し、見舞金を支給します。

財源 市40万円 ▼人権・同和対策課

●地域共生ステーション(宅老所)防犯対策整備事業(新) 720万円  
宅老所の防犯対策を促進するため、防犯カメラや非常通報装置の設置などにかかる費用の一部を補助します。

財源 県360万円 市360万円 ▼長寿社会課

●シルバー人材センター支援事業 996万円  
高齢者の就業を促進するため、シルバー人材センターに対し支援を行います。

財源 財産収入22万円 市974万円 ▼長寿社会課

●重度障害者(児)医療給付事業 1億1246万円  
心身に重度の障害がある人の経済的負担を軽減するため、医療費の一部を給付します。

財源 県5609万円 市5637万円 ▼福祉課



↑白い杖でまちを歩き、視覚障害に対する理解を深めました。

●身体障害者更生医療給付事業 9330万円  
身体に障害がある人の障害部位の加療により、改善または機能維持を図るため、人工透析や心臓手術など、医療費を給付します。

財源 国4655万円 県2328万円 市2347万円 ▼福祉課

●障害者介護・訓練等給付事業 11億5873万円  
障害者やその保護者が利用する障害福祉サービスの費用の一部を支給します。

財源 国5億7847万円 県2億8924万円 市2億9102万円 ▼福祉課

●障害児生活適応施設(ひまわり園)管理運営事業 2059万円  
障害のある幼児とその保護者に、日常生活に対応する訓練や指導を行うため、こどもハートフルセンターひまわり園を運営します。

財源 諸収入1683万円 市376万円 ▼福祉課

●留守家庭児童クラブ専用施設整備事業【新】 6283万円

留守家庭児童クラブの利用者の増加や小学4年生以上の児童の受け入れに対応するため、専用の施設を整備します。

財源 国1660万円 県1660万円 市債2320万円 市643万円 ▼教育総務課

●病後児保育事業 355万円

仕事と子育ての両立を支援するため、保護者が就労などにより病気の回復期にある子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預かります。

財源 使用料7万円 国116万円 県116万円 市116万円 ▼福祉課

●児童手当支給事業 10億5753万円

次世代を担う子ども一人一人の育ちを社会全体で応援するため、中学校修了までの児童を対象に児童手当を支給します。

財源 国7億3630万円 県1億5921万円 市1億6202万円 ▼福祉課

●子育て世代包括支援センター事業

(産婦健診・産後ケア事業【新】、5歳児相談事業【新】) 174万円  
妊娠・出産・子育て期(妊娠から就

学前まで)の切れ目のない支援を行うため、子育て世代包括支援センターで、新しく産婦健診・産後ケアと5歳児巡回相談を行います。

財源 国66万円 県42万円 市66万円 ▼健康づくり課

●予防接種事業 1億5636万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種などを実施します。

財源 市1億5636万円 ▼健康づくり課

●健康診査事業(がん検診ワンコイン化及び肝炎ウィルス検診無料化【新】、胃内視鏡検診【新】) 3452万円

県内でも低い受診率を向上させるため、がん検診の料金を500円に統一し、肝炎ウィルス検診を無料にします。また、胃がんの早期発見・早期治療につなげるため、胃内視鏡検



↑子育て支援センターぽっぽ

査を導入します。

財源 国22万円 県69万円 繰入金93万円 諸収入504万円 市2764万円 ▼健康づくり課

●子育て支援センター管理運営事業 662万円

子育て相談業務や、多様化する保育需要に対応するため一時預かり、休日保育などを行う子育て支援センターを管理・運営します。

財源 使用料61万円 国218万円 県218万円 市165万円 ▼福祉課

●子どもの医療費助成事業 1億7886万円

子育て世帯の負担を軽減するため、0歳から中学生までの子どもが通院・入院した際に必要な費用の一部を助成します。また、4月診療分から保護者の申請手続きを簡略化します。

財源 県4696万円 繰入金8140万円 諸収入23万円 市5027万円 ▼福祉課

●生活困窮者自立支援事業 729万円

生活困窮者への包括的な相談支援を行い、必要な場合は住居確保給付金を支給します。

財源 国547万円 市182万円 ▼福祉課

●不妊治療エンゼルサポート事業 310万円

不妊治療の経済的負担を軽減するため、高額な治療費の一部を助成します。

財源 市310万円 ▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業 4955万円

乳児が心身ともに健やかに育つよう、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して出産ができる体制を確保するため、乳児と妊婦の健康診査を実施します。

財源 市4955万円 ▼健康づくり課

●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金 2億1206万円

地域医療の確保を図るため、伊万里有田共立病院事業の運営に要する経費を負担します。

財源 市2億1206万円 ▼健康づくり課

●休日・夜間急患医療センター管理運営事業 1568万円

日曜・祝日の休日診療や、平日の夜間における小児診療を行うため、休日・夜間急患医療センターを管理・運営します。

財源 市1568万円 ▼健康づくり課

# 創造的で心豊かなひとづくり

将来の伊万里市を担う人材を育成するため、地域貢献を志し地域づくり活動の企画立案や実践に取り組み若者を伊万里未来プランナーとして養成します。

市民図書館の資料の充実に努めるとともに、開館から21年が経過し老朽化が進む設備を改修するなど、図書館サービスの向上を図ります。

小中一貫校南波多校の教育効果を高めるため、校舎を小学校敷地に増築するとともに、平成31年度からの伊万里中学校の新校舎建設に向けた基本設計を行います。また、心や体に不安を抱える児童生徒を学校内においてサポートする支援員を大幅に増員します。

国見台陸上競技場の第3種公認を更新するため、フィールドの改修工事や投てきサークルなどの整備を行います。

県内外から多数のランナーが参加するハーフマラソン大会では、スポーツツーリズムの観点から本市の観光PRに努め、さらなる交流人口の拡大につなげます。

市民会館大ホールの吊天井の落下防止対策工事や市民センターの空調設備の更新などに取り組みます。



全国から多くの人が参加した伊万里ハーフマラソン大会

### ●伊万里未来プランナー養成事業

28万円

地域貢献を志す若者の企画立案と実践をサポートし、人・情報・地域をつなぐ人材を養成するため、ファシリテーター養成研修会などを開催します。

財源 繰入金20万円 市8万円

### ●図書館改修事業【新】

4736万円

老朽化が進んでいる市民図書館の外壁やホール用プロジェクト、トイレなどを改修します。

財源 県4600万円 繰入金130万円 市6万円

▼市民図書館

### ●家読推進事業（伊万里うちどく推進ネットワーク運営業務委託）【新】

97万円

家読うちどくについての理解を促進するため、家読講演会を開催するとともに、『図書館を使った調べる学習』地域コンクールを開催します。また、市全体に家読を広げるため、ネットワーク活動を展開します。

財源 繰入金90万円 市7万円

▼市民図書館

### ●放課後子ども教室開催事業

59万円

子どもたちの社会性や自主性など

▼市民図書館

を育てるため、安全・安心な子ども活動拠点（居場所）を設け、地域の大人の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの機会を提供します。

財源 県39万円 市20万円

▼生涯学習課

### ●青少年相談事業

175万円

いじめ・不登校・非行など青少年の問題行動の増加に対応するため、子どもや家庭がかかえる悩みなどを相談し早期解決につなげる体制・環境を確立します。

財源 市175万円

▼生涯学習課

### ●小・中学校パソコン管理事業

7173万円

ICT利活用環境の充実に努めるため、校務用パソコンを更新するとともに、学習用タブレットパソコンの導入などを行います。

財源 繰入金1210万円 市5963万円

▼学校教育課

### ●小中一貫校整備事業

2億6482万円

小中一貫校南波多校の教育効果を高めるため、既存の小学校校舎の改修と増築を行います。

財源 国2890万円 市債2億210万円 市3382万円

▼教育総務課



● 中学校建設事業【新】 3203万円

伊万里中学校を改築するため、基本設計などを行います。

財源 繰入金3200万円 市3万円  
▼教育総務課

● スクールカウンセラー配置事業 299万円

いじめや不登校など、子どもや保護者が抱える悩みについてカウンセリ

ングを行うため、教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置します。

財源 県100万円 市199万円  
▼学校教育課

● 特別支援児童生徒サポート事業 4684万円

小・中学校において、学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの児童・生徒に対し、学習・生活支援を行うため、支援員を配置します。

財源 市4684万円  
▼学校教育課

● 国見台体育施設改修事業【新】 7788万円

国見台陸上競技場が第3種公認の更新時期を迎えるため、認定に必要なインフィールドの改修工事や、備品の整備などを行います。

財源 市債4370万円 繰入金3400万円 市18万円  
▼体育保健課

● ウオーキング大会開催事業 30万円

市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウォーキングファンへ参加を呼びかけることにより、伊万里を広くPRし、スポーツ交流人口の拡大を図るため、『魅力あふれる夢のまち伊万里ウォーク』を開催します。

財源 繰入金30万円  
▼体育保健課

● 県民体育大会出場支援事業 102万円

毎年10月に開催される県民体育大会に出場する選手の強化を図るため、要する費用の一部を補助します。

財源 市102万円  
▼体育保健課

● スポーツ合宿誘致事業 262万円

経済効果やまちの活性化を図るとともに、市民との合同練習などにより競技力の向上を図るため、大学や高校など学生のスポーツ合宿を誘致し、合宿に要する費用の一部を助成します。

財源 繰入金260万円 市2万円  
▼体育保健課

● ハーフマラソン大会開催事業 200万円

競技力の向上を図るとともに、全国のランナーに伊万里市に来てもらうことでスポーツ交流人口の拡大を図るため、日本陸上競技連盟公認コースでのハーフマラソン大会を開催し

ます。

財源 繰入金200万円  
▼体育保健課

● 市民センター自主事業【新】 187万円

22年ぶりに本市で開催されるNHK番組『のど自慢』の公開放送のため、放送に必要な仮設舞台の設置などを行います。

財源 繰入金180万円 市7万円  
▼市民センター

● 市民センター改修事業 5916万円

平成4年の施設建設から24年が経過し、設備に不具合が生じてきているため、市民センターふれあいプラザの空調設備を改修します。

財源 繰入金1480万円 市債4430万円 市6万円  
▼市民センター

● 市民会館改修事業 2922万円

市民会館ホール棟の耐震対策を行うため、客席天井の改修工事を行います。

財源 県1108万円 繰入金450万円 市債1360万円 市4万円  
▼市民センター

● 史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業 218万円

平成25年度に策定した国史跡の大川内鍋島窯跡の整備計画に基づき、今

後の整備事業の資料とするため、発掘調査を行います。

財源 国109万円 繰入金100万円 市9万円  
▼生涯学習課

● 大連市友好交流促進事業（大連市友好交流30周年記念事業）【新】 929万円

中国大連市との友好交流30周年を記念し、友好を深めるため、市民訪問団の派遣のほか、両市のマラソン大会へのランナーの派遣や招へいなどを行います。

財源 繰入金920万円 市9万円  
▼国際戦略室

● 国際戦略室

中国大連市との友好交流30周年を記念し、友好を深めるため、市民訪問団の派遣のほか、両市のマラソン大会へのランナーの派遣や招へいなどを行います。

財源 繰入金920万円 市9万円  
▼国際戦略室



↑ 肖像 盛峰大連市長から大連市名誉市民称号を授与された塚部芳和市長（左）



↑ 友好交流 30 周年記念のオリジナルフレーム切手

# 活気あふれる産業づくり

イチゴやキュウリなどの園芸作物の品質向上や、経営コスト削減などに向けた施設などの整備を支援するほか、青年就農給付金や親元就農給付金により、地域農業の担い手を育成します。

また、イノシシなどの有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費などへの支援を行い、農作物の被害軽減を図るとともに、生産条件の不리한中山間地域における農業生産活動を支援し、耕作放棄地の発生防止や農地の適正な管理を促進します。

市内外の若者に対し、高度な技術力などを持つ市内企業をPRし就職を促進するため、伊万里の「いい職」説明会を開催するなど、高校生卒者などの市内定着と市内企業の人材確保を図ります。

首都圏や福岡都市圏のホテルにおいて、伊万里産食材を使用した限定メニューを伊万里焼の器で提供する『伊万里フェア』を開催するとともに、唐津市内の西九州自動車道の沿道に伊万里牛をテーマとして本市へと誘導する看板を新たに設置するなど、福岡都市圏からの誘客を柱とした観光戦略のさらなる展開を図ります。



RKBラジオまつりに伊万里牛のブースを出店

### ●園芸農業機械・施設等整備支援事業

4651万円

収益性の高い園芸農業の確立を図るため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減に向けた取り組みに必要な、機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県3750万円 繰入金900万円 市1万円

▼伊万里梨課

### ●水田農業機械・施設等整備支援事業

816万円

水田農業の担い手の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県627万円 繰入金180万円 市9万円

▼農業振興課

### ●農業経営安定等支援事業

1022万円

経営所得安定対策を円滑に推進するため、市農協生産組合や水田台帳の作成などを行う市農業再生協議会に対し、活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県862万円 市160万円

▼農業振興課

### ●親元就農給付金支給事業

120万円

将来の農業の担い手を確保するため、青年就農給付金の対象とならない親元就農者に対し、給付金を支給します。

財源 市120万円

▼農業振興課



↑箱わなにかかったイノシシ

### ●新規就農給付金支給事業

2525万円

経営が不安定な就農直後の所得の確保と就農時の初期負担の軽減により、青年層の就農意欲を喚起し就農後の定着を図るため、給付金を支給します。

財源 県2525万円

▼農業振興課

### ●有害鳥獣対策事業

1206万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策に要する費用の一部を補助します。

財源 市1206万円

▼農業振興課

● 中山間地域農業集落活動支援事業

1億6096万円

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持向上を図るため、協定集落の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県1億2132万円 市3964万円

▼ 農業振興課

● 農地・水保全管理支援事業

1億2868万円

農地や農業用施設などの資源と農村環境を将来にわたって良好な状態で保全するため、管理活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県9670万円 市3198万円

▼ 農山漁村整備課

● 森林を守る交付金事業

178万円

分散している小規模な森林を取りまとめるため、効果的な林業生産活動を推進するため、施業集約化や森林経営計画の策定に要する費用の一部を補助します。

財源 県134万円 市44万円

▼ 農山漁村整備課

● 森林・林業再生基盤づくり交付金事業

2352万円

森林の整備・保全や林業・木材産業の健全な発展、木材利用の推進を図るため、森林や林業の再生基盤とな

る機械・施設の整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県2036万円 諸収入83万円 市233万円

● 海域環境・生態系保全管理支援事業

85万円

環境や生態系の維持と回復など、水産業と漁村の多面的機能の発揮につなげるための、地域の活動に要する経費の一部を補助します。

財源 市85万円

● 工業団地整備事業【新】

1130万円

企業誘致を促進し、新たな雇用を創出するため、内陸型の工業団地を整備します。今年度は、整備予定地内に存在が確認された埋蔵文化財の発掘調査を行います。

財源 繰入金1130万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● ビジネス支援サービス業等立地促進事業【新】

943万円

事務系企業の誘致促進を図り、新たな雇用を創出するため、民間物件オフィスを借り上げ、誘致企業専用のオフィスにします。

財源 使用料943万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 伊万里の“いい職”説明会開催事業

61万円

伊万里・有田地区の高校生や福岡都市圏の学生などを対象に、市内企業のPRや就職情報などの提供を行うため、企業説明会を開催します。

財源 繰入金60万円 市1万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 商業団体支援事業（新商品販路開拓支援事業費補助金【新】）

37万円

新商品の販路開拓を図るため、伊万里商工会議所が行う展示商談会への出展に要する経費の一部を補助します。

財源 繰入金30万円 市7万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 観光PR事業

307万円

福岡都市圏などからのさらなる誘客を図るため、旅行会社への営業活動や、様々なメディアを活用した情報発信を行います。

財源 繰入金300万円 市7万円

▼ 観光課

● 伊万里ブランド販売促進事業

706万円

伊万里ブランドの確立を図るため、福岡都市圏および首都圏のホテルにおいて、伊万里産の食材を使った限定メニューを伊万里焼の器で提供する「伊万里フェア」を開催します。

また、福岡都市圏などの大型商業施設において、伊万里焼風鈴の展示や伊万里焼のテーブルコーディネート展示や販売を行います。

財源 繰入金700万円 市6万円

▼ 観光課

● 観光基盤関連施設整備事業

313万円

西九州自動車道の伊万里東府招ICへの延伸に伴い、市内観光地へのスムーズな誘導やPRを図るため、新たに市内外に観光案内看板を設置します。

財源 繰入金310万円 市3万円

▼ 観光課

● 伊万里港開港50周年記念事業【新】

2500万円

伊万里港開港50周年を記念し、式典や各種イベントを開催します。

財源 繰入金2500万円

▼ 伊万里港開港50周年記念事業推進室



↑伊万里まちなか一番館に開設したPORTO 3316 IMARI

# 安全で快適な地域づくり

市街地の円滑な交通を確保するため、都市計画道路の整備や市道の補修をはじめ、道路照明灯などの道路付属物や橋りょうの長寿命化に取り組みなど、安全に安心して通行できる道路環境の整備に努めます。

高齢化の進行に伴い重要度が高まっている路線バスや鉄道については、運行事業者やまちづくり協議会などの関係団体などと連携して利便性の向上を図り、将来にわたり持続可能な公共交通網の構築に努めます。

平成25年度から実施している有田川浄水施設の更新事業を完了させるとともに、有田川取水・導水施設の耐震化や老朽化への対応を進め、将来にわたり安定的な水道水の供給に努めます。

地域における消防力の向上を図るため、小型動力ポンプ付積載車の更新をはじめ、防火衣などの消防団員の活動装備の充実に努めます。

災害発生時に主要な情報伝達手段となる防災行政無線の平成30年度の市内全域への整備完了に向け、設置工事を進めます。また、新たに中学生を対象とした防災教育に取り組みほか、地区防災委員の研修や情報伝達訓練を実施するとともに、原子力災害を想定した防災訓練に取り組みます。



夏季点検で市長などによる観閲を受ける消防団員

- 西九州自動車道整備促進事業（西九州自動車道開通記念事業費補助金【新】） 130万円

西九州自動車道の伊万里東府招ICへの延伸を記念し、イベントなどを開催します。

財源 繰入金130万円

- ▼伊万里湾総合開発・国道対策課

- 都市計画道路整備事業（大坪小学校線） 7831万円

市街地の円滑な交通を確保するため、社会資本整備総合交付金を活用して、都市計画道路大坪小学校線を整備します。

財源 国4180万円 市債3420万円 市231万円

- ▼道路河川課

- 道路管理事業（単独） 7970万円

核燃料税交付金を活用して、市道を維持するための補修工事などを行います。

財源 県4980万円 市2990万円

- ▼道路河川課

- 道路管理事業 3346万円

平成25年度に実施した道路防災・付属物点検の結果に基づき改良を図るため、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している道路付属

物や法面を補修します。  
財源 国1815万円 市債1480万円 市51万円  
▼道路河川課

- 市道改良事業（単独） 1420万円

道路が狭いことなどにより交通に支障があるため、市道3路線の改良を行います。

財源 市債1060万円 市360万円

- ▼道路河川課

- 市道改良事業 1927万円

市道2路線の改良を図るため、道整備交付金を活用して、整備工事を行います。

財源 国950万円 市債930万円 市47万円

- ▼道路河川課

- 交通安全施設整備事業 1億3689万円

交通安全の確保のため、社会資本整備総合交付金を活用して、歩道の新設や段差解消、拡幅などを行います。

財源 国7425万円 市債6060万円 市204万円

- ▼道路河川課

- 橋りょう管理事業 5871万円

平成25年度に策定した伊万里市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく整備を進めるため、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した橋りょうを点検・補修します。

財源 国3190万円 市債2250万円 市431万円

- ▼道路河川課

● 橋りよう管理事業（単独 橋りよう点検用ドローン購入〔新〕）  
100万円

橋りよう点検の効率化を図るため、橋りよう点検用のドローンを購入します。

財源 市100万円 ▼道路河川課

● コミュニティバス運行事業  
1594万円

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。

財源 繰入金1590万円 市4万円 ▼まちづくり課

● バス交通支援事業  
7914万円

不採算バス路線の運行や地域が行うバスの運行を確保するため、要する経費の一部を補助します。

財源 県471万円 繰入金7440万円 市3万円 ▼まちづくり課

● 鉄道交通支援事業（松浦鉄道施設整備事業費補助金）  
1204万円

第3セクターである松浦鉄道株式会社との円滑な事業運営のため、松浦鉄道沿線の2県4市2町で組織する松浦鉄道自治体連絡協議会において決定した施設整備事業計画に基づき、施設の整備や更新に要する費用の一部を補助します。

財源 市1204万円 ▼まちづくり課

● 有田川浄水場更新事業（水道事業特別会計）  
3億5032万円

施設の老朽化や水源の水質変化などに対応し、安全・安心で良質な水道水を供給するため、高度浄水処理施設への更新を行います。

財源 国5504万円 市債2億8000万円 市1528万円 ▼水道部工務課

● 有田川取水・導水施設更新事業（水道事業特別会計）  
7億7265万円

施設の老朽化などに対応し、非常時における生活用水の確保と水道水の安定供給のため、更新工事を行います。

財源 県7110万円 市債6億3000万円 出資金5282万円 市1873万円 ▼水道部工務課

● 佐賀県西部広域環境組合運営負担金  
2億5347万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合の経費を負担します。

財源 市2億5347万円 ▼環境課

● 伊万里・有田地区衛生組合運営負担金  
2億6255万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿などの処理や火葬場事業に要する経費を負担します。

財源 市2億6255万円 ▼環境課

● 資源ごみ回収促進事業  
249万円

リサイクルやごみ減量化対策を推進するため、資源ごみの回収活動に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金240万円 市9万円 ▼環境課

● 一般廃棄物収集運搬事業  
1億7341万円

ごみ（一般廃棄物）を適性に処理するため、指定ごみ袋などを製作するとともに、ごみを収集運搬します。

財源 手数料9057万円 諸収入30万円 市8254万円 ▼環境課

● 環境センター管理運営事業  
4822万円

市内から排出されたビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイのリサイクル処理を行うため、環境センターを運営します。また、平成27年度をもって閉鎖した焼却施設と最終処分場を適切に管理します。

財源 諸収入357万円 市4465万円 ▼環境課

● 広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業  
1億1231万円

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会との間で締結された地域振興協定に基づき、組合からの依頼を受け、松浦町にスポーツ・レクリエーション施設を整備するため、文化財発掘調査や

用地購入などを行います。

財源 繰入金1億1231万円 ▼体育保健課

● 都市公園管理事業（国見台公園トリムコース舗装工事等）  
1036万円

老朽化した施設を改善するため、城山公園のフェンス改修工事を行うとともに、国見台公園トリムコースの再舗装を行います。

財源 繰入金1020万円 市16万円 ▼土木管理課

● 市営住宅改修事業  
4466万円

市営住宅の住環境を改善するため、社会资本整備総合交付金を活用して改修を行います。

財源 国2157万円 諸収入6万円 市債1810万円 市493万円 ▼都市政策課



↑多くの人でにぎわう伊万里リサイクルフェア



↑平成28年4月に竣工した馬伏雨水ポンプ場

●伊万里・有田消防組合運営負担金

7億8509万円

伊万里・有田消防組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市7億8509万円

▼消防調整課

●消防団運営事業（防火衣更新等）

707万円

消防団活動の充実や強化を図るため、各地区消防団に配備されている防火衣などの安全装備品の更新や、トランシーバーなどの情報伝達機器の整備を行います。

財源 県340万円 繰入金230万円 市137万円 ▼消防調整課

●消防団車両管理事業

912万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車の老朽化に対応するため、順次更新を行います。

財源 市債870万円 市42万円

▼消防調整課

●防犯灯設置促進事業（防犯灯設置費補助金）

120万円

地域の防犯体制を強化するため、各行政区の防犯灯設置に要する費用の一部を補助します。

財源 市120万円 ▼総務課

●煤屋川改修事業

1527万円

狭く蛇行している煤屋川の氾濫による農地や家屋の浸水被害を防ぐため、社会资本整備総合交付金を活用して改修します。

財源 国500万円 市債980万円 市47万円 ▼道路河川課

●ため池整備促進事業

3865万円

災害の未然防止や農地などの保全、農業生産の維持、農業経営の安定を図るため、老朽化したため池の改修などを行います。

財源 分担金425万円 県2590万円 市債760万円 市90万円 ▼農山漁村整備課

●浸水対策事業

5091万円

満潮と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区に、雨水渠や排水機場などを整備します。

財源 国2500万円 市債2540万円 市51万円 ▼下水道課

●防災活動事業（地域防災力向上促進事業、防災教育推進事業【新】）

77万円

地区防災活動の活性化と住民の防災意識の向上を図るため、地区防災委員の研修会を開催するとともに、『わがまち・わが家の防災マップ』を活用した地区ごとの防災訓練の実施を推進します。また、中学生を対象に、災害時に主体的に行動する力を育成するため、防災教育を実施します。

財源 市77万円 ▼防災危機管理課

●防災行政無線施設整備事業

3億2415万円

市民の生命や財産を災害から守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線を整備します。

財源 県70万円 市債3億2980万円 市△635万円 ▼防災危機管理課

●避難所看板整備事業【新】

47万円

災害時に市民や観光客を的確に避難所に誘導するため、指定避難所の案内看板を設置します。

財源 市47万円 ▼防災危機管理課

●急傾斜地整備事業

280万円

急傾斜地崩壊危険区域で、斜面崩壊や落石による被害を防ぐため、家屋が崖地に隣接した地区の崩壊防止工事を行います。

財源 分担金70万円 県140万円 市70万円 ▼道路河川課

●急傾斜地整備促進事業

300万円

大川内町市村地区で、急傾斜地や崖地の崩壊による家屋などへの被害の増大を未然に防止するため、県が行う対策工事に要する費用の一部を負担します。

財源 分担金150万円 市債130万円 市20万円 ▼道路河川課



↑震度6強の地震が起きた想定で行われた市防災訓練

# 自立と協働のまちづくり

## まちづくりの目標

広報紙やホームページなどによる的確で迅速な行政情報の提供に努めるとともに、災害時の避難情報などを伝達するため、ケーブルテレビ網の波多津町内への配信エリア拡張を支援します。

まちづくりの担い手を育成するため、各町において地域住民が主体となつて地域の課題解決に取り組みまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業の支援に努めます。また、市民活動支援センターの利用を促進し、市民活動団体の相互連携と活動の活性化を図るとともに、市民をまちづくり研修に派遣するなど、市民主体のまちづくりのリーダーとなる人材の育成に努めます。

効率的な行財政の運営を目指し、第6次行政改革大綱に基づき、市税の収納率向上などによる自主財源の確保をはじめ、ICTの活用や機構改革による事務の効率化などさらなる改革を推進し、市民サービスの向上につなげます。

自立した行政経営を確立するため、市民の意見を充分に聴き課題を自ら発見し解決していく政策形成能力を備えた職員の育成に努めます。



三里町中里地区で12年に1回開催される申相撲大会(平成28年12月4日)

### ●ケーブルテレビ基盤整備支援事業

2450万円

災害情報を伝達したり行政情報を提供したりする環境を整備するため、ケーブルテレビのエリア拡張に伴う共通基盤の整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県2450万円

### ▼情報広報課

### ●地域の元気推進事業(地域の元気づくり交付金)

429万円

地域の課題に対応した住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町(地区)の公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』の活動に要する経費の一部を補助します。

財源 繰入金420万円 市9万円

### ▼まちづくり課

### ●次代を創る研修事業

59万円

分権型社会を担い、時代の変化に柔軟に対応できる人材を育成し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、一般財団法人地域活性化センターなどが主催する人材育成研修に市民と職員を派遣するほか、広く市民や団体向けの講演会を開催します。

財源 財産収入2万円 繰入金57万円  
▼まちづくり課

### ●ふるさと応援寄附募集事業

6億535万円

ふるさと応援基金への寄付の増加と産業の振興を図るため、当該基金に一定額以上の寄付があった場合に市内の特産品を送付します。

財源 繰入金6億535万円

### ▼伊万里暮らし応援課

### ●移住・定住促進事業 1889万円

本市への移住・定住を促進するため、奨励金の交付や情報発信などを行います。

財源 繰入金1880万円 市9万円  
▼伊万里暮らし応援課

### ●地域おこし協力隊事業【新】

786万円

地域づくり活動を促進するため、都市地域から本市へ生活の拠点を移し、地域支援の活動を行う地域おこし協力隊員を、2名に委嘱します。

財源 繰入金780万円 市6万円

### ▼伊万里暮らし応援課

### ●第6次総合計画策定事業【新】

980万円

市政全般の方針を示す重要な計画である第6次総合計画を策定するため、基礎調査などを実施します。

財源 市980万円 ▼企画政策課



## 平成 29 年度 予算特集号

- 発行日／平成 29 年 5 月 1 日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社